

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	次 長	主 査	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 2 回 総 務 文 教 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 23 年 6 月 3 日（金曜日）	開会 13 時 31 分	閉会 14 時 17 分
開 催 場 所	第二委員会室		
出席委員	大谷、井上、渡辺、水口、渡邊、柴田	事務局	中嶋事務局長
	委員外～清水		田湯次長
欠席委員			寺嶋主査
説明員	別紙のとおり	議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 滝川市立西小学校における集団胃腸炎の発生について		
	2. その他について		
	柴田委員から、次回委員会の開催時期について要望があった。		
	3. 次回委員会の日程について		
	6 月 8 日（水） 午後 1 時 30 分～		
	※今回の議件について、状況に進展があり委員会開催の準備が整った時点で開催することとした。		
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 総務文教常任委員長 大 谷 久美子 ㊞		

平成23年6月2日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長	前 田 康 吉
滝川市教育委員会委員長	若 松 重 義

総務文教常任委員会への説明員の出席について

平成23年6月2日付け滝議第38号で通知がありました総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育長	小 田 真 人
教育部長	舘 敏 弘
教育部指導参事	四十九院正 満
教育部学校教育課長	中 川 啓 一
教育部学校教育課副主幹	黒 川 靖 子
教育部学校教育課事務主任	松 澤 裕 子

(総務部総務課総務グループ)

第2回 総務文教常任委員会

H23.6.3(金) 13時30分

第二委員会室

開 会 13:31

委員動静報告

委員長 全員出席。委員外～清水。北海道新聞、市企画課広報担当職員の傍聴を許可する。

1. 所管からの報告事項について

委員長 (1) について説明願う。

(1) 滝川市立西小学校における集団胃腸炎の発生について

教育長 臨時の総務文教常任委員会を開催していただき、ありがとうございます。昨日の報道発表資料を既に委員に配付しているが、きょうはそれ以降の部分を中心に後ほど部長から説明させていただく。市立病院の平木先生にもお越しいただいているが、診療があるので先生への質問は、前半に集中的にさせていただければと思う。新聞報道でもあったように、昨日の朝から西小学校において、教員を含めて73名の欠席あるいは早退があり、急性胃腸炎が集団的な発生をしたということで、感染症あるいは食中毒の両面から滝川保健所が今検査をしているが、いずれにしても学校においてこのような集団的な疾病が発生したことについて、罹患された児童の方、保護者の皆様に変な申しわけなく思っている。改めておわびを申し上げたい。資料のP1は、昨日配付した資料がほとんどでP2がそれ以降の部分となっているので、まず部長から説明させていただく。

館部長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わったが、市立病院から平木先生にお越しいただいているので、症状等について詳しく説明願う。

平木診療部長 昨日からの状況を簡単に説明させていただく。昨日の厚生常任委員会でも報告させていただいたが、一昨日の夕方から西小学校の患者が吐き気、下痢、発熱などの症状で少しずつ来院され、昨日の8時半から17時までの通常の時間帯の診療で51名の西小学校の患者が受診している。資料にもあるが、昨夜からけさまでの救急外来、時間外の受診が6名で、きょうになってからもう少し患者さんが来ると思っていたが、案外少なくて午前中は胃腸炎で受診された西小学校の患者は3名だった。昨日の受診に比べてきょうの受診は少し落ち着いたような状況である。症状は、ほとんどの方が吐き気、下痢、3分の2くらいの方が発熱を伴っている。昨日の段階では入院患者はいなかったが、昨日の夕方に1人が入院した。ただこの方もその後快方に向かっており、特別なことがなければあすくらいに退院できるのではないかといい状況である。原因については、まだ今の段階では保健所と協力して調べているところではっきりしたことは言えないが、昨日の診察のときに当院を受診した患者の中で便を取ることができた方が6名おり、このうちの3名からノロウイルスが迅速診断法で検出されている。ロタウイルスも迅速診断でき、ノロウイルスと違って肛門から綿棒で取った程度の少量の便で検査できるが、20名を調べて1人も出なかったことでこのウイルスではないということが言えるのではないかと思います。細菌学的な検査は少し時間がかかるのでまだ結果は出ていない。今のところ私たちが患者を診察して原因の病原体ということでとらえることができたのはこういったところ

	である。
委員長 渡 辺	説明が終わった。最初に平木先生に対する質疑を受ける。質疑はあるか。 集団胃腸炎というものは、一般的に口から食物を通しての感染が疑われる。またノロウイルスは、子供たちが接触をしてうつると言われている。数十人の患者さんを診察してまだはっきりしたことは言えないということだが、原因は食物あるいは集団的な接触によるものなのか。教職員も含めて感染があったということで食物ということが考えられると思うが、もう少し詳しく見解を伺いたい。
平木診療部長	1つはこれだけ広範囲な感染が同時期に起こっていること、もう一つは各学年、各クラスに割と均等に発生していることがある。例えば5年2組を中心に隣の3組、1組が少し少ないといった変異があるのではなく、各クラスにむらなく発症しているということがある。給食を介した感染の可能性は十分あると思うが、もしこれがノロウイルスだとすると非常に感染力が強く、食物を介さなくても大流行になることもままあるので、今の段階で給食が原因と断定するのは早いのではないかと考えている。給食を介したような食中毒、あるいはそれ以外のものというように両面で考えていく必要があると思う。
委員長	平木先生に質疑はあるか。(なし) 先生は診療があるので、ここで退席する。他に質疑はあるか。
清水委員外議員	① ノロウイルスだとすればということも含めて伺うが、家庭における感染拡大対策として、除菌や消毒に必要な塩素系の消毒液や手袋が必要になると聞いた。それらを教育委員会から支給する考え方がないのか伺う。 ② 感染力が強いということで、ある方は1人がかかって家族みんなが感染したということである。医療費は後で教育委員会が持つということもあると思うが、医療費等についての考え方について伺う。
館 部 長	② 家族の2次感染の防止について、昨日保健所から指導があったときに子供の健康状態についてということで、専門的な疫学調査票を全児童に配付している。あわせて保健所から予防方法の資料を昨日のうちに全児童、欠席した児童についても全戸訪問して状況調査をし、全員に家庭での予防対策ということで渡している。 ① 塩素系の消毒液を各家庭にということは今のところ考えていない。直近では岩見沢市の対応ということも皆さん承知と思うが、その辺については適切に対応していきたいと考えている。
清水委員外議員	早く収束させることが今一番やらなければならないことである。家族にうつって1回治った人がまたかかるという話も聞く。収束させるためには各家庭で徹底的に収束させることが必要である。各家庭に任せる、説明して事足りりということではないと思う。極端なことを言えば何日に1回は訪問してどういうふうになっているかを確認するくらいまで教育委員会が責任を持つ必要がある。人的、経済的、物的にも教育委員会がそういう姿勢でやっていかないと一日も早い収束というものが難しいのではないかと。一日も早い収束のためにありとあらゆることをやる必要があると思う。適切に対応するというでそのとおりやると思うが、何千万円もかかるわけではなく、やってくれと言ってもやらない家庭があっては困るので、きょうの段階でやりますということが必要と思うがいかがか。
館 部 長	先ほど西小学校の全児童という話をしたが、つけ加えて本日中に市内の小中学

校全校の保護者の皆様に、現在の西小学校の状況、あわせて2次感染予防のための留意点ということで、手をこまめに洗いましょう、トイレを清潔にしましょう、嘔吐物の処理など二十何項目あるがわかりやすくした。こういったものが経済的に出費があるのかというところだが、例えば塩素系の消毒液はどこの家庭にあるものでできるのではないかと考えている。

教 育 長 保健所からいただいた資料によると家庭にある塩素系の漂白剤、ラベルの中に次亜塩素酸ナトリウムの表示があるものということで、さらに周知の徹底を図っていきたいと思っている。西小学校については、昨日休んだ児童全員に対する家庭訪問、きょうは臨時休校しているので全児童への家庭訪問をしている。まだ最終決定ではないが、月曜日も臨時休校を延長するということなので、子供たちの状況把握をするために全戸を家庭訪問をすることになっている。その中で家庭に必要な情報があれば一緒に伝えていくことが必要ということで、保健所の資料によるとノロウイルスの場合は一般的には1週間くらいでおさまるが、長い場合は1カ月かかることもあるということなので、引き続き注意しながら推移を見守っていきたいと思っている。

清水委員外議員 特定されてない段階と言いながら、やはり初動である。拡大を抑えたとしたら今が一番狭いところで抑えられるということで、抑える労力も少なく済むということである。次亜塩素酸ナトリウムの消毒液が家庭にあるという話をしたが、問題は適正な濃度以上でなければ効き目が無いわけで、これを何倍に希釈してくださいとか、本来であれば薄めなくてもいいようなものをきちんと提供することが必要だと思う。例えばウイルスにかかった家畜の防疫体制を皆さん見ていると思うが、ここから入るあるいは出るときには外側から噴霧するといったことまでやる。先ほど部長は家庭でも手に入るというようなことを言ったが、認識が甘いのではないか。ここで認識が甘かったら全然だめである。ノロウイルスだということはほぼ確定しているわけなので、待ちの姿勢ではなくどんどん行ってほしいということで考えを伺う。

館 部 長 私どもは積極的にやっているつもりだったので、それが認識が甘いという判断であれば、言われた意味を十分理解して対応策を考えていきたい。

委 員 長 他に質疑はあるか。

柴 田 保健所のほうでいろいろ調査しているということだが、今清水議員が言ったことについては、原因が特定されなければなかなか集中的な対処もできないと思うので、原因の特定までに至る時期がいつごろなのかを伺う。

中川課長 保健所からは、ウイルス関係の調査については1日程度あれば例えばノロウイルスであるといったことはわかると聞いているが、細菌学的な調査については2日ないし3日かかるということである。中身によってはもう数日を要する場合もあるということだったが、何とか来週の早い段階でわかればと期待しているところである。

柴 田 二、三日というのは、どの日を起点とするのか伺う。

中川課長 検体というのは採便だが、その便を培地というか培養する格好になる。ウイルスは別の検査があるが、その培地に載せてから2日か3日ということである。西小学校については、きょう休んでいる児童、調理員らの便を集めている最中なので、きょうからということである。そのほかに学校給食の検食ということで5月31日と6月1日のメニューの保存してあるものについては、昨日持ち帰ってもらっているので、その検査結果も含めて来週の早いうちにと期待してい

柴 田 ところである。

そのことについてはわかった。確かに飛沫感染や接触による感染があり得るということは今まで理解していたが、そうではなく、もっと感染力があるというような話がずっと続いている。平木先生がいたときに聞けばよかったが、余り感染力という話が一人歩きすると焦点がぼけてしまうので、今教育委員会として感染力についてどの程度の認識を持っているのか伺いたい。

教 育 長 症状としては一般的にはそんなに重篤な症状は出ないが、爆発的に感染をするという意味では感染力が強い、広がるのが早いウイルスだというような認識をしているので、西小学校だけではなく、各小中学校にも2次感染予防も含めて対応をお願いしており、各学校で配った文書を保健福祉部に渡して保育所等への対応もお願いしている。西小学校は5日まで臨時休校ということで、子供たちには基本的には外に出ないようにお願いすることになるので、自宅待機というほどのものではないが、極力他人との接触を避けていただくということをお願いしている。家族の感染という部分も出てくるが、先ほど西高の話をしたが、開西中学校でも31名の方の弟や妹が西小学校にいて発症しているが、けさの段階で休んでいる生徒の中でそういう症状が出ている者はいないと聞いている。

柴 田 発症から3日である。症状が強くあらわれているのは昨日ということを考えて、この週末をくぐった段階でどの程度広がっているのかある程度掌握できるのではないかと思いますので、先ほど教育委員会として感染力についてどの程度の認識かということ伺った。そういうような理解でよいのか伺う。

教 育 長 あす、あさっては土、日曜日になるが、教育委員会は待機をして、市立病院とも連携して受診者がどういった動向になるのかを把握していきたいということでの体制を取っている。

委 員 長 他に質疑はあるか。

渡 辺 岩見沢市でもノロウイルスに限定しなくても、結局は給食ということである程度特定された。そういう給食の管理の対策について、教育委員会と学校の管理職や養護教諭、給食の調理担当者などと岩見沢市の轍を踏まないためにはどうしたらいいかというような対策が行われたかどうか伺う。

中川課長 岩見沢市の事故の教訓を今どう生かしているのかという質疑と理解して答弁させていただく。岩見沢市での学校給食が原因と思われる食中毒事故を知ったのは2月14日で、その日のインターネットの報道を見てすぐに10カ所ある各学校の調理場に衛生管理の徹底をするように指示の文書を出している。その後の推移を見るとかなり拡大していることもあり、17日からだったと思うが、10カ所の調理場の緊急点検を行っている。まずい部分などがないかどうか確認し、手洗いが一番重要だということで手洗い器の古く使いづらい物を新しい物に9カ所の調理場で14器交換している。給食調理員の衛生講習も例年2回開いており、2月で既に2回終了していたが、保健所の協力を得て3月30日に臨時の講習会を開催して全栄養教諭4名と53名の調理員全員出席のもと実施させていただいている。

委 員 長 他に質疑はあるか。

渡 辺 給食の献立ということで、この食材は、当日すべて入ってくるのか伺う。

中川課長 学校給食では食材を何日も保管することは許されていないので、当日の朝7時45分までに各業者に運んできていただき、その日のうちに全部調理している。調味料はまとめて冷蔵庫に保管している。

渡 邊 発症は西小学校に集中しているが、食材は他の小中学校にも共通している部分があると思う。31日、1日の間で献立の中で他の小中学校に共通している部分があるのか伺う。

中川課長 メニューは共通しており、使う食材も共通である。ただ業者によっては一つの食材を2業者、3業者で配る場合もあるので、そういった部分では分かれているところもあるが、食材としては必ずどこかの学校とは重なっている。西小学校だけで起きて他の学校で起きていない理由は何かと問われると、まだ答えられない。保健所の調査を待つという状況である。

委 員 長 他に質疑はあるか。(なし)(1)については報告済みとする。

委 員 長 **2. その他について**

柴 田 委員から何かあるか。

総務文教常任委員会の開催について、来週の早い段階でいろいろな調査結果などが出てくると予想されているので、本来は8日に開く予定だが、適切な時期に次回の委員会を開いていただくように要望したい。教育委員会の対応もあるので、その辺についてはいかがか。

委 員 長 正副委員長で対応について考えさせていただくことでよいか。(よし)

ほかにあるか。(なし)事務局から何かあるか。(なし)

委 員 長 **3. 次回委員会の日程について**

次回委員会の8日はそのまま開催することとし、この案件についての開催は、正副委員長に一任するというものでよいか。(よし)以上をもって第2回総務文教常任委員会を閉会する。

閉 会 14:17